

南信州広域連合第2回広域連合会議 結果報告

日時：平成28年5月16日(月)13:40~14:02

場所：県南信消費生活センター 2階会議室

1 開 会…13:40

【出席者】13市町村長(泰阜村長欠席)・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕布山副所長・細野地域政策課長補佐兼企画振興係長

〔飯田保健福祉事務所〕寺井所長

〔飯田建設事務所〕西元所長

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕関島消防長・三石消防次長兼飯田消防署長・有賀総務課長

〔飯田環境センター〕田見事務局長・北原事務局長補佐兼新焼却施設整備担当専門主査

【事務局】渡邊事務局長・塚平事務局次長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・下島介護保険係長・前沢庶務係主事

2 広域連合長挨拶

本日は広域連合会議後に、知事と市町村長との意見交換会が行われる。広域連合また市町村としても大変有意義な機会と捉えており、活発な意見交換ができることを期待する。また、5月18日開催予定の伊那谷自治体会議については後ほど事務局から説明させていただく。

3 協議・報告事項

(1) 知事と市町村長との意見交換会について

…資料2による説明(渡邊事務局長)

正式な資料については会場にて配られる。地域の現状と課題・施策の方法について、広域連合をはじめ14市町村のものを冊子にした。「忌憚のない意見交換を」ということで、各市町村の資料に関して、「要望事項」については割愛させていただいた。

広域連合については広域連合長が話をする予定。大きな4つの課題について、改めて知事に提言させていただく。各市町村については、要望的なことは資料から除いてあるが、それぞれの発言の中で関係があれば適言及していただければと思う。

意見交換全体のテーマは「地域版総合戦略の推進による移住・定住促進について」ということで、南信州地域への新しい人の流れを作っていくという内容である。本日は長い時間を確保していただいているので、広域連合及び各市町村長の立場での発言の後に、そのテーマでのフリートークができる時間もとれるのではないかと思う。その場でも適宜忌憚のない発言をしていただければと思う。

発言の順番は、最初に広域連合長に発言していただき、市町村については松川町から大鹿村まで順次発言していただき、最後に飯田市とする。ご了解賜りたい。

【質疑なし】

(2) 27年度目標設定のまとめについて

…資料3による説明(塚平事務局次長)

27年度の年度末評価をご確認いただきたい。この年度末評価をできるだけ数値等を入れて具体的に表記する中で、これを基に28年度の目標設定に繋げさせていただいた。部会の折にそれぞれの設定事項について説明があったということで、本日は全体的な部分を説明する。調査研究プロジェクト・リニアの対応・消防など、それぞれの部分でまとめさせていただいた。改めてご一読いただきたい。

【質疑なし】

(3) 飯田広域消防から

①平成 28 年熊本地震の状況及び参考情報について

②出動状況について

…資料 4 による説明（関島消防長・三石消防次長兼飯田消防署長）

①平成 28 年熊本地震の状況及び参考情報について（資料 4－1）

熊本地震の状況について。飯田広域消防本部では発災に基づき、4 月 16 日に初動態勢として救助隊・救急隊・支援隊を各 1 隊ずつ出隊準備を行ったが、近畿ブロックまでの緊急消防援助隊で活動が終了した。資料 3 ページは、当地域で震度 7 の地震が発生した場合にどのような状況になるかを示したものの。緊急消防援助隊・県内応援隊・関係市町村と広域消防との連携について抜粋した。特に関係市町村との連携については、今後発生が予想される災害に対して重要であり、連携を図ることで迅速な活動に努めてまいりたい。28 年度は各市町村の防災担当者と意見交換をさせていただき、連携強化について検討してまいりたい。

②出動状況について（資料 4－2）

昨年同日と比較した 5 月 9 日現在の市町村別火災発生状況。今年の総合計 46 件は昨年と比較して 7 件の増加。今年の件数は例年の状況。この時期も春先と同様の警戒を継続する必要がある。たき火火災については今年 29 件で、昨年と比較して 17 件の増加。期間を設けて運動を展開したが成果は得られず。今年のたき火火災の件数についても例年の状況となった。

資料裏面の平成 28 年 5 月 9 日の火災・救急・救助の出動件数について。昨年同日と比較して、火災は 7 件の増加、救急は 3 件の増加、救助は 9 件の減少。最終的にはすべての出動において件数の減少を目指す。これからの時期は熱中症による救急出動が多くなることが予想されるが、熱中症にならないための予防救急に取り組んでまいりたい。

…口頭による説明（渡邊事務局長）

災害に関連しての補足。災害見舞金について以前 F A X にてお知らせした。広域連合としての災害見舞金の事例は過去 4 件あり、今回も正副連合長・部会長会議にて改めて協議した結果、広域連合としては今後も含めて「災害見舞金は長野県内を対象に考えていく」ことで集約した。また東日本大震災時に行った避難の受入のような事例が今後発生する場合は、その時に広域連合会議の場で対応等の協議をしていただくこととしたい。圏域内のことについては、広域消防を中心に地方事務所と連携をとる中で、体制について改めて確認・整理をしてまいりたい。

【質疑】（熊谷高森町長）

熊本への救援物資について。現地ではもう受入をストップしているという報道があるが、それでも自治体が現地へ救援物資を送りたいとする場合、県の社会福祉協議会を通じれば熊本で受け入れてもらうことは可能か。

【応答】（布山下伊那地方事務所副所長）

ご案内のとおり、管内の市町村と県で共同して一度救援物資を現地へ送っている。今後救援物資を送るということについては至急確認して後日連絡させていただく。

(4) 小水力発電について

…資料 5 による説明（渡邊事務局長）

本日は情報提供ということで、後日改めて各市町村の総務課長等に照会させていただく。

S B I エナジー(株)という S B I ホールディングスの子会社があり、太陽光・小水力・バイオマス等の再生可能エネルギーを用いた事業をメインとしている。加藤学前衆議院議員からの仲介ということで話をいただいた。

要するに、S B I エナジー(株)として小水力発電事業の適地を探しているということ。規模としては毎時 50 キロワットから 200 キロワットを想定している。事業の形態としては、① S B I エナジー(株)が 100% 出資して自社で行う形態 ② 地元と共同で会社を興す形態 ③ P F I で行う形態 の 3 つが

考えられる。「一級河川については水量の確認等ハードルが高いので、農業井水等も含めて適地があれば是非ご紹介いただきたい。水利権の調整等についてはすべて会社が行う。」とのこと。ご承知おき賜り、お声掛けをいただければと思う。

【質疑なし】

(5) 南信州いいむす 21 登録判定について

…資料 6 による説明（塚平事務局次長）

審査の結果「適合」と認められた 2 件の登録をお認めいただきたい。2 件の区分については ISO14001 南信州宣言 1 件、上級 1 件。

【質疑なし、承認】

4 長野県

●下伊那地方事務所

…口頭による説明（布山副所長）

知事と市町村長との意見交換会について。この後、飯田合同庁舎の講堂において 14 時 40 分から行われる。よろしくお願ひ申し上げる。

●飯田建設事務所

…口頭による説明（西元所長）

これから 6 月に入り梅雨のシーズンとなる。6 月は土砂災害防止月間であり、各水防管理団体等との連携をとりながら、防災・減災の対策を図ってまいりたい。

●飯田保健福祉事務所…なし

5 今後の日程

- | | |
|-------------|--|
| 5 月 23 日（月） | 13:30～南信州広域連合議会第 1 回臨時会（飯田広域消防本部 3 階大会議室）
終了後～全員協議会 |
| | 15:50～名古屋市住宅都市局長 黒田昌義氏 講演 |
| 6 月 16 日（木） | 南信州広域連合会議 講堂 |

6 閉会…14:02